

臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報 は 厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：[03-3541-5151](tel:03-3541-5151) (代表)

担当者の所属・氏名：内科 平沼 茉純

【研究責任者】 聖路加国際病院 内科専攻医 平沼 茉純

腹腔内感染症におけるセフメタゾール使用が有効でない患者 の特徴の調査

1.研究の対象

2003年7月22日から2020年11月30日までに、腹腔内感染症で聖路加国際病院に入院し、初期加療でセフメタゾールを使用した方。

2.研究の目的・方法

一般的に腹腔内感染症に対し、初期加療でセフメタゾールを使用することが多く、腹腔内感染症におけるセフメタゾールの有効性は既に報告されています。'実臨床では、治療中に感染が増悪し、セフメタゾールから別の広域抗菌薬に変更する場面がありますが、そのリスク因子の検証はなされていないのが現状です。本研究は、腹腔内感染症におけるセフメタゾール使用が有効でない患者さんの特徴を調査し、腹腔内感染に対し、初期加療でセフメタゾールを使用すべきでない因子を探求することを目標とした初めての研究となります。

方法としましては、2003年7月22日から2020年11月30日に腹腔内感染症の初期加療にセフメタゾールを使用した患者さんの診療録（カルテレビュー）に記載されている内容についての調査のみとなります。

調査期間は、研究倫理審査委員会承認後～2021年12月31日

3.研究に用いる試料・情報の種類

年齢、性別、病歴、治療歴、カルテ番号、血液検査、CT検査など